

こくりにゆうだよ



1月号

大阪府立桜塚高等学校 2年 木村 凛

「あけましておめでとうございます!今年も仲間と学業や部活動の成果を高め合えるよう精一杯頑張ります!!」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



とよなか国流の30年をふり返る パネルディスカッション

2月5日(日) 18:00~20:00

榎井緑さん(大阪大学特任教授)、田中逸郎さん(NPO法人NPO政策研究所理事)他による講演とパネルディスカッション。

定員: 90人(申込先着順)

参加費: 無料

申込: メール・電話にて受付

世界を食べよう

ブラジルのおいしい話

1月26日(木) 10:30~12:00

同国にルーツを持つ講師から食文化についてのお話を聞く。

定員: 8人(申込先着順)

会場: Basic珈琲(豊中市西緑丘3丁目13-1)

参加費: 無料

申込: メール・電話にて1月6日(金)10時より受付開始

10/22(土)、29(土) 日本語ボランティア養成講座 を開催しました！～後編～

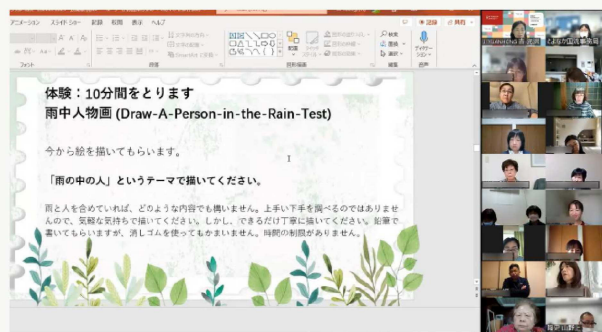
10月22日(土)と29日(土)に当センター主催の日本語ボランティア養成講座を1年半ぶりにZoomにて開催しました。両日とも午前と午後の部に分けて行いました。今月号は29日の講座の様子をレポートします。

きつみこう

10月29日には午前と午後の部で延べ85人の参加がありました。午前の部では立命館大学の吉沅洪さんから『異文化適応におけるメンタルヘルス～“雨中人”～』をテーマに話をいただきました。吉さんは中国蘇州のご出身で、現在大学と大学院で臨床心理学とカウンセリングを教えておられます。冒頭でご自身の異文化適応の経験を語られ、講座を受けた皆さんの関心を寄せ付けました。その後、「心にも文化差が存在すること」、「異文化適応の過程で生じるストレス反応」、「ストレスを管理すること」など順を追って述べ、異文化適応の過程に起こりうるストレス反応への対処方法として自己理解はとても大切であると力説されました。参加者はグループワークで各自描いた「雨の中の人」の絵を互いに見せながら、絵の中の人の気持ちについて話し合い「絵を描いて話していると、今の自分自身の心理も分かる気がして、楽しかったです」「全く違う発想の方がいて驚きました」などの声をいただきました。これからの日本語交流活動において、支援者となるボランティアの皆さんは、学習者の異文化適応を助けると同時に、自分自身が異なる文化を持つ学習者と接する中でのストレス管理にも役に立つのではないかと思います。

午後の部の前半では、事務局長の山野上が担当し、〇×形式で8つの質問を出しながら、日本語交流活動を通じていかに多文化共生社会を作っていくのかを参加者と一緒に考えました。当協会の日本語交流活動は外国人市民に日本語を学ぶ場を提供すると同時に、参加するすべての人が出会い、知り合い、豊かな人間関係を築いていくことを重視するという大切な理念を、分かりやすい形で参加者に伝えました。後半では、現在活動中のボランティアの皆さんから各グループの紹介がありました。参加者から「それぞれ工夫を凝らして活動されていることが印象に残りました」「ボランティアさんの取り組みがとても素敵だなと感じました」との感想が寄せられました。現役のボランティアからも「日本語教室ではなく、異文化交流であるということが 新しいボランティアの方々に伝わったように思いました」「初心に戻ってまた頑張らねばと痛感しました」との貴重な声をいただきました。

2回にわたる養成講座では「対話と協働」、「異文化適応」と、多様な人々が安心・安全に暮らせる地域づくりを進めるにあたって求められる視点を中心に学んできました。新しいボランティアの皆さんは各グループでの見学を終えてから実際に活動を始めることになります。当協会の日本語交流活動の担い手としての皆さんのご活躍を期待しております。(協会職員・林陽)



吉先生の講座の様子

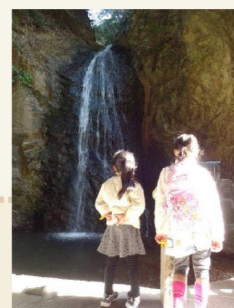
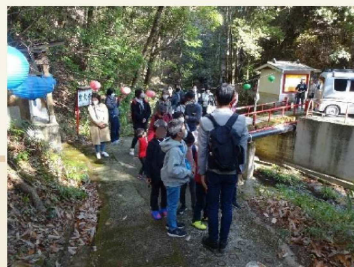
「韓国・朝鮮のこぼとあそびのつどい」フィールドワークに行きました！

「韓国・朝鮮こぼとあそびのつどい」は韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、毎月1回とよなか国際交流センターに集まり、ソンセンニム(民族講師)やチング(友だち)と民族の歴史や言葉、遊びなどの文化を学ぶことを通してつながりを深め自尊感情を培う場です。「つどい」の運営は豊中市内小中学校の先生方による「韓国・朝鮮のこぼとあそびのつどい」実行委員会が中心となっています。11月の活動報告を実行委員会の船越先生から頂きました。

11月は、センターから飛び出してフィールドワークに行きました。阪急山本駅から北に向かって15分ほど歩くと、ハングルの書かれた提灯が見えてきます。朝鮮寺と呼ばれている「宝教寺」です。このお寺の敷地内には「七星堂(チルソンダン)」と呼ばれる祠(ほくら)とそれに続く階段があります。この階段がとってもきつい！子どもたちは手すりを持って一步一步踏みしめながら上っていました。そこから見える景色は素晴らしかったです。この日は法要が行われていたのかご住職の話は聞けませんでした。奥さんとハルモニ(おばあさん)たちは料理の話などしていました。

「宝教寺」から更に山道を10分ほど歩くと、マイナスイオンたっぷりの見ごたえのある滝があります。滝壺の水を触ったり、どんぐりを拾ったり、友だちと一緒に楽しく過ごす姿が見られました。自由な空間でつながりを深めることのできたフィールドワークでした。

楽しく学べるように年間を通してプログラムを計画されています。韓国・朝鮮につながりのある小中学生で、参加に関心のある方はお問い合わせください！(協会職員・大庭みゆき)



フィールドワークの様子

子どもサポート事業（学習支援サンプレイス）でボランティアをしていた岩根あずまさんが、2020年7月よりノルウェーで生活されています。日本から遠く離れた地での生活や現地の様子について、あずまさんにレポートしていただきます！

みなさんこんにちは！これを書いている11月下旬、オスロは寒くて暗い冬を迎えています。そんな冬の楽しみの一つに、クリスマスに向けて家々が窓辺に飾るオーナメントがあります。

ノルウェーでは夜もカーテンを閉めていない家が多いような気がします。窓辺のオーナメントやキャンドルなどの可愛い飾りが暖かい光と一緒に通りを灯していて、寒い通りを歩きながら心がホッとする瞬間です。一方で、家々の温かい明かりの向こうに見える各家庭の生活感から、ちょっぴりホームシックになることもあります。

そんなときに時々考えるのが、「あなたのホームはどこですか？」という質問です。大学院時代にカナダで受けた研修で、トロントで暮らす世界各地からの移住者のコミュニティを訪問した際、フィールドワークに連れて行ってくれた先生にされた質問です。「ホーム」というのは不思議なもので、そのとき、「改めて考えてみると確かにどこが『私のホーム』なのだろう？」という気がしてきたことを覚えています。私は、生まれ育った土地、学生時代を過ごした街、それぞれを訪れる時、「帰ってきた〜」と感じます。この春、ノルウェーから日本に一時帰国して、またノルウェーに戻った時にも「帰ってきたんだなあ」と考えている自分もいました。

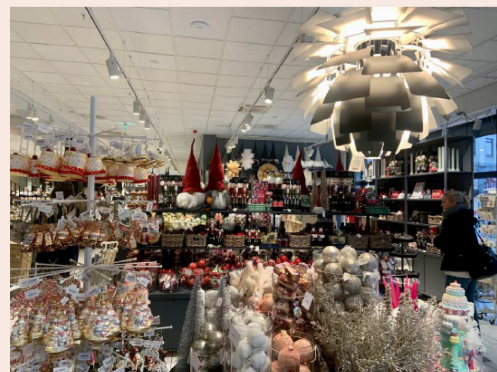
「ホーム」というのは、安全であるという感覚、土地を空間的に理解しているという親近感、コミュニティに所属しているという感覚、より良い生活の機会を持てるという感覚という4つから成り立っているとする説があります（Jansen



写真左) ユールニッセの置物（ユールニッセはノルウェーでのサンタクロースのような位置付けにある妖精です）



写真右) ペーパーデコレーション、みんなこれを窓辺に飾っています



デコレーショングッズ売り場、気合が入ってます！

and Lofving 2009)。ただ、私が「ホーム」と感じている場所は研究が言う4つの定義とはちょっと違って、大切な時間を過ごした場所、大切な人と出会った場所、大切な人がいる場所、大好きな景色がある場所など、今の私という存在を形作ってきた経験と深く結びついている場所のような気がします。ノルウェーで迎える3回目の冬、まだまだ「ホームの冬」と言うには慣れない部分もありますが、そんなことを考えながら過ごしています。

皆さんにとっての「ホーム」はどこですか？

Jansen, S. and Lofving, S. (eds) 2009. Struggles for Home. Violence, Hope and the Movement of People. New York: Berghahn Books.

【告知】 1/20(金)、22(日) 外国人保護者のための入園・入学準備説明会

外国人保護者に向けた説明会を開催します。入園準備説明会は、子育て支援センターの方、入学準備説明会は教育委員会および学校の先生からお話を聴くことができます。通訳もありますので、この機会に是非ご参加ください。

【入園準備説明会】

日時：2023年1月20日（金）14：00～15：30

場所：とよなか国際交流センター

対象：テーマに関心のある外国人の保護者10人

（※子連れでの参加可）

内容：幼稚園・保育園・子ども園の制度や申込の方法について
子育て支援センター職員からの説明（英・中・韓・ベトナム・インドネシア・フィリピン・タイ語の通訳あり）

【小学校入学準備説明会】

日時：2023年1月22日（日）14：00～15：30

場所：とよなか国際交流センター

対象：2023年4月に豊中市立小学校の新小学1年生となる

子どもの保護者20人（※子連れでの参加可）

内容：日本の学校制度・小学校生活などについての説明
（やさしい日本語で話します。英・中・韓・ベトナム語の通訳あり）

申込：2023年1月15日（日）まで

※英・中・韓・ベトナム語以外の言語での通訳が必要な人は要予約、2023年1月8日（日）まで。

●申込：とよなか国際交流センター（先着順）

電話：06-6843-4343 メール atoms@a.zaq.jp

2023

1月

の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。

記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
26	27	28	29	30	31	01 休館日
02 休館日	03 休館日	04 休館日	05 にこにこ 相談	06 にこにこ 相談	07 相談 若者	08 母語 サンプル 南部
09	10 相談 こんぱす	11 休館日	12 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	13 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	14 相談	15 がちや サンプル 南部 国流シネマカフェ 13:30~16:30
16 もつと 相談	17 おやこ 相談 こんぱす	18 休館日	19 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	20 金あさ にこにこ 相談 こんぱす 入国準備説明会 14:00~15:30	21 つと 相談 ★1: 10:30~12:00 ★2: 13:30~15:00	22 がちや 母語 サンプル 南部 ★3: 14:00~15:30
23 もつと 相談	24 おやこ 相談 こんぱす	25 休館日	26 千里 木ひる にこにこ 相談 世界を食べよう 10:30~12:00 オンライン	27 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	28 相談	29 がちや サンプル 南部
30 もつと 相談	31 おやこ 相談 こんぱす	★1: チョアチョアコリア 10:30~12:00 ★2: 外国人のための防災セミナー 13:30~15:00 ★3: 外国人親子のための小学校入学準備説明会 14:00~15:30				

◆赤字表記の活動については、活動内容を変更している場合があります。詳しい情報については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日…	もつともつとつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日…	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日…	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンライン日本語	13:30~15:20 13:30~15:30 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日…	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日…	韓国・朝鮮のことばとあそびのつと ※毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 若者のたまりば※第1土曜日のみ	9:30~11:30 11:00~16:00 14:00~16:00
日曜日…	にちようがちやがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプルイス 南部にほんご(庄内公民館で実施)	10:00~12:00 10:00~12:00 13:00~15:00 13:00~15:00

今月のピックアップ

連続講座『チョア チョア コリア』

子どものための国際理解プログラム“おまつり地球一周クラブ”の特別編『チョア チョア コリア』は、この数年は1年に1回限りで開催していましたが、参加者から「もっと沢山のことを知りたい、体験したい」等の声を多数いただいていたこともあり、今年度は連続講座で実施することとなりました。講師と参加者が回数を重ねて出会うことで、より親しくなり深い学びにつながると思います。是非ご参加ください。

日時：①1月21日(土)、②2月25日(土)、③3月4日(土)

(全て土曜日、10時30分~12時)

対象：①~③の全3回連続で参加できる小中学生

定員：15人 参加費：無料

申込：要申込・先着順(1月6日から受付開始)

とよなか国際交流センターおしらせ
「こくりゅうだより」第165号(2023年1月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会

住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間:9:00~21:30(水曜休館)

TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

